

令和7年度 事業報告

社会福祉法人しらさぎ福祉会

はじめに

令和7年度は、物価高騰の勢いが止まらず、一般家庭の家計にも大きな影響を与え続けています。そして一方では、世間の賃金上昇ムードが高まる中、最低賃金が過去最大級の上げ幅となりました。そのような状況下で、中小企業にとっては非常に厳しい経営が強いられており、介護業界も例外ではありません、特養で34.0%、デイサービスで44.2%（兵庫県老人福祉事業協会「2025年度介護報酬改定の影響に関する調査」より）の事業所で赤字経営が続くなど、引き続き深刻な状況にあります。

そのように、依然として財政難が続く傾向にはありますが、当法人は、各事業所が新規加算取得やブランディング戦略などによる顧客拡大や稼働率向上を果たし、昨年度に比べて介護保険事業収入を大幅に改善することができました。しかしながら、昨年度に続いて老朽化した各所修繕に追われる一年となり、さらに高騰を続ける食材費と加速的に進む賃上げの勢いに押されるなどして、法人全体では黒字決算となったものの、事業活動における収支差額を激減させる実績結果となりました。

また、介護業界では人材不足が深刻さを増していますが、当法人では令和7年度の新卒入職者の獲得には至らなかったものの、介護職員の退職率が0%と介護人材の確保においては安定を保ちつつ、現場を牽引するリーダー層を中心とした人材育成を計画的に実施し、次世代を見据えた組織づくりが進展を見せ、持続化への取組に大きな成果が得られました。

このように、しらさぎ福祉会は第3期中長期計画及び令和7年度事業計画に意欲的に取り組み、以下のような成果を上げましたので、報告します。

令和7年度

事業報告書

社会福祉法人 しらさぎ福祉会

《経営ビジョン》

家族と暮らしているようなアットホームな施設としての誇りを持ち、地域社会に貢献し続けるための組織体制と経営基盤を築く。

《基本理念》

誠心誠意を尽くし その人らしさを尊重し 貢献心を強く持つ

《基本方針》

- ① わたしたちは、懇切丁寧に接し、安全で安心、安楽な生活環境をつくります。
- ② わたしたちは、尊厳を守り、個別性のある心温かい支援を行います。
- ③ わたしたちは、地域社会とのつながりを大切にし、福祉向上のために貢献します。

1 法人経営の原則の遵守

法人は、定款第3条の規程に則り、社会福祉事業の主たる担い手として相応しい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、経営基盤を強化し、サービスの質向上及び事業経営の透明性の確保を図り、地域福祉の推進に努めることを宣しています。

令和7年度は、その実践として以下のとおり取り組みを行いました。

一つ目に、持続安定化を果たすための財源獲得です。令和7年度は全事業で稼働率向上と顧客拡大に成果があり、介護保険事業収入が昨年度に比べて大幅に増加しました。しかしながら、老朽化対策に追われたため支出面でも増加傾向にあり、増収増益とはなったものの、収支差額はインパクトを欠きました。

二つ目に、資金運用と職員処遇とのマッチングです。老朽化対策で支出過多に傾く中、予算に見合った資金運用と急ピッチで進む賃上げとのバランスに留意し、その成果として、まずは将来的な施設整備の準備金として利益を残すことができました。

三つ目に、介護テクノロジーの補助金活用による整備です。令和7年度は、昨年度に続き新規着手の事業所が優先される形となり、応募したものの実現しませんでした。しかし、緊急整備を要する見守りセンサーについてはご利用者の安全確保を最優先とし、独自資金でセンサーマットを整備することで補強とし、補助金対象の見守りセンサーについては未整備部分を引き続き補助金活用にあねます。

四つ目に、情報発信ツールによる啓発強化です。ブランディングを進める中、自法人のホームページをはじめ、外部関連のツールも手段としたPRを積極的に行いました。令和7年度は介護職員の働きやすい職場環境づくり厚生労働大臣表彰に応募し奨励賞を受賞できたため、厚生労働省及び兵庫県のホームページでも取り組みのポイントを作成し掲載いただくことが実現しました。知名度が高まったことで、既に人材確保の取組に成果がありました。

五つ目に、老朽化が進む各所の再整備です。施設環境に多大な影響が及ぶ給湯設備や空調設備だけではなく、放送設備の老朽化が重なり、補正予算を組んでの整備が強いられました。今後については更新時期のピークを迎えているため、計画的な設備更新を行っていく必要があると考えられます。

六つ目に、中堅職員の育成強化による組織力強化です。一年を通して主任・副主任などリーダー層を対象に、リーダーシップとチームビルディングのノウハウを外部講師により学び対応力向上につなげ、次世代リーダーの役割意識を醸成しました。

以上の取り組みにより、職員のための働きやすい環境づくりと持続性のある事業運営に向けて大きな段階を踏んだ一年となりました。

2 理事会・評議員会の開催

1) 理事会の開催

- ・第1回 令和7年6月6日（金）
 - 第1号議案 令和6年度事業報告（案）について
 - 第2号議案 令和6年度計画書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について
（監事監査報告）
 - 第3号議案 理事・監事候補者の選定について
 - 第4号議案 評議員候補者の選定について
 - 第5号議案 給与規程一部改正（案）について
 - 第6号議案 育児休業等に関する規則の変更（案）について
 - 第7号議案 介護休業等に関する規則の一部改正（案）について
 - 第8号議案 定時評議員会への上程議案の確認について
 - 報告事項① 職員の入退職について
 - 報告事項② 理事長の職務執行状況について
 - 報告事項③ その他
- ・第2回 令和7年6月21日（土） ※招集手続きの省略
 - 第1号議案 理事長の任期満了に伴う改選（案）について
- ・第3回 令和7年9月9日（火）
 - 第1号議案 法人旅費規程の一部改正（案）について
 - 第2号議案 特定個人情報取扱規程の一部改正（案）について
 - 第3号議案 経理規程の一部改正（案）及びクレジットカード取扱規程の制定（案）について
 - 第4号議案 施設整備に伴う補助金の活用について
 - 報告事項① 各事業所の現況報告について
 - 報告事項② 職員の入退職について
 - 報告事項③ 理事長の職務執行状況について
 - 報告事項④ その他
- ・第4回 令和7年12月10日（水）
 - 第1号議案 令和7年度しらさぎの里拠点区分第1次補正予算（案）について
 - 第2号議案 非常用放送設備の更新について
 - 第3号議案 役員等報酬規程の一部改正（案）について
 - 第4号議案 令和7年度第2回評議員会への上程議案の確認について
 - 報告事項① 令和7年度上半期決算報告について
 - 報告事項② 令和7年度上半期監事監査報告について
 - 報告事項③ 各事業所の現況報告について
 - 報告事項④ 職員の入退職について
 - 報告事項⑤ 理事長の職務執行状況について
 - 報告事項⑥ その他
- ・第5回 令和8年3月16日（月）
 - 第1号議案 令和7年度しらさぎの里拠点区分第2次補正予算（案）について
 - 第2号議案 令和8年度事業計画（案）及び予算（案）について
 - 第3号議案 令和8年度定期昇給（案）について
 - 第4号議案 育児休業に関する規則の一部改正（案）について
 - 第5号議案 経理規程及び定款細則の一部改正（案）について
 - 第6号議案 日常清掃業務の委託契約について
 - 第7号議案 役員賠償責任保険の契約更新について

第8号議案	非常用自家発電設備及び看取り環境の整備に係る補助金活用について
第9号議案	令和6年度第3回評議員会への上程議案の確認について
第10号議案	デイサービスセンターしらさぎ運営規程の一部改正（案）及び介護予防日常生活支援総合事業運営規程の一部改正（案）について
報告事項①	各事業所の現況報告について
報告事項②	職員の入退職について
報告事項③	理事長の職務執行状況について

2) 評議員会の開催

- ・ 定時評議員会 令和7年6月21日（土）
 - 第1号議案 令和6年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について
（監事監査報告）
 - 第2号議案 理事・監事の選任について
 - 第3号議案 給与規程一部改正（案）について
 - 第4号議案 育児休業等に関する規則の変更（案）について
 - 第5号議案 介護休業等に関する規則の一部改正（案）について
 - 報告事項① 令和6年度事業報告について
 - 報告事項② 職員の入退職について
 - 報告事項③ その他
- ・ 第2回 令和7年12月22日（月）
 - 第1号議案 令和7年度しらさぎの里拠点区分第1次補正予算（案）について
 - 第2号議案 法人旅費規程の一部改正（案）について
 - 第3号議案 特定個人情報取扱規程の一部改正（案）について
 - 第4号議案 経理規程の一部改正（案）及びクレジットカード取扱規程の制定（案）について
 - 第5号議案 役員等報酬規程の一部改正（案）について
 - 報告事項① 令和7年度上半期決算報告について
 - 報告事項② 令和7年度上半期監事監査報告について
 - 報告事項③ 各事業所の現況報告について
 - 報告事項④ 職員の入退職について
 - 報告事項⑤ その他
- ・ 第3回 令和8年3月16日（月）
 - 第1号議案 令和7年度しらさぎの里拠点区分第2次補正予算（案）について
 - 第2号議案 令和8年度事業計画（案）及び予算（案）について
 - 第3号議案 令和8年度定期昇給（案）について
 - 第4号議案 育児休業等に関する規則の一部改正（案）について
 - 第5号議案 経理規程及び定款細則の一部改正（案）について
 - 第6号議案 日常清掃業務の委託契約について
 - 第7号議案 非常用自家発電設備及び看取り環境の整備に係る補助金活用について
 - 第8号議案 デイサービスセンターしらさぎ運営規程の一部改正（案）及び介護予防日常生活支援総合事業運営規程の一部改正（案）について
 - 報告事項① 各事業所の現況報告について
 - 報告事項② 職員の入退職について

報告事項③ その他

3) 監事会の開催

- ・ 令和7年5月12日・5月16日（世良監事・谷口監事）
令和7年度第1回理事会及び定時評議員会にて令和6年度下半期監事監査結果として報告
- ・ 令和7年11月17日・11月18日（世良監事・増井監事）
令和7年度第4回理事会及び第2回評議員会にて令和7年度上半期監事監査結果として報告

4) 評議員選任・解任委員会の開催

- ・ 第1回 令和7年6月21日（土）
第1号議案 任期满了に伴う評議員の改選（案）について

3 事業運営

- ① 第一種社会福祉事業 特別養護老人ホームの経営
- ② 第二種社会福祉事業 老人短期入所事業の経営
老人デイサービス事業の経営
- ③ 公益事業 居宅介護支援事業
介護予防支援事業

4 本年度の重点施策

1) サービス品質

- ① 基本理念である「誠心誠意」「心温かく丁寧」「地域貢献」の考えを再周知し、日々基本に立ち返る姿勢を大切に取り組みました。
- ② 法人の看板である一人としての自覚と倫理観、プロ意識の醸成に取り組みました。
- ③ 外部評価の受審結果や自己評価に基づく魅力をブランディングに転換し PR を行いました。
- ④ 法改正等新たな視点を取り入れた各種マニュアルの見直し対応力向上を図りました。
- ⑤ リスク管理強化のため、全職員の規律や安全に関する意識づけに注力しました。
- ⑥ 外部講師による主任・副主任等指導者育成研修を実施しました。
- ⑦ 嘱託医や協力医療機関との協議を経て連携を強化し、対応力向上を図りました。

2) 人材確保と人事管理の適正化への対応

- ① 組織の一員としての役割意識と倫理観を高める取り組みを行い、経営的視点とメンバーシップの考えを職場内で醸成、共有しました。
- ② 多様な人財が役割を持って生き生きと活躍できる職場環境であることをPRしました。
- ③ 後継者育成を目指し、中堅職員の指導力と相談機能強化のため、リーダー研修と個別指導を実施しました。
- ④ ワーク・ライフ・バランスを大切に、就業規則等を職員目線で見直し、子育てや介護をしながら働き続けることができる職場環境の整備を更に進めました。
- ⑤ 人材不足対策として、ICT や IOT の活用による更なる業務効率化を目指す中、計画にあった介護ロボット追加導入に補助金の支援が得られず、見合わせとしました。
- ⑥ ホームページの利便性を活かし、成果や魅力、特徴に関する情報を発信した結果、ハローワークや求職希望者からの問い合わせが増え、多くの機会を得ました。

3) 財務基盤の強化

- ① 稼働率アップや顧客拡大、新規加算の取得等の成果として、全事業の介護保険事業総収入では昨年度を上回る成果が得られました。
- ② 月次決算に基づき、予算と計画に従った健全な財源運用を心がけ、老朽化に伴う修繕経費や物価の高騰に押されながらも黒字決算となりました。
- ③ 社会的な物価高騰と人件費増大の中、非常時に備えた物品を確保しました。喫緊の課題である非常用自家発電設備の更新は自己資金により次年度持ち越しとしました。
- ④ 顧客数拡大に向け、顧客ニーズに対し内部連携と外部連携で成果を得ました。
- ⑤ 将来的な施設整備資金の確保は、目標には達しないものの可能性を見出しました。

4) 地域との連携強化

- ① 地域行事や会議などでの交流機会を広げ、地域ニーズの把握等に努めました。
- ② 地域における見守り支援サービスの活動を通じて地域福祉向上を実現しました。
- ③ 地元小中学校等では、介護の仕事の魅力と地域における存在意義を周知しました。
- ④ 学生実習やインターンシップ、体験実習を積極的に受け入れましたが成果は乏しく、一方で専門学校でのプレゼンテーションを通じ、1名の新卒者を獲得しました。

5) 設備備品管理

- ① 老朽化が進む外壁や内装については中長期計画に掲げ、給湯・空調・放送などの生活環境を支える設備を優先的に整備し、暮らしの安全を図りました。
- ② 交通アクセスの利便性向上のため看板と駐車場整備を計画しましたが、生活に密着した整備計画を優先し、次年度への見送りとなりました。
- ③ 安全管理体制を強化するため、屋外監視カメラの更新と追加設置しました。
- ④ 安全快適な送迎サービスの実現において、補助金活用が叶わず、次年度独自資金による購入を検討します。また、老朽化により廃車対象となった居宅介護支援事業の訪問車輛を更新し、非常災害時にも活用可能な電気自動車を導入しました。
- ⑤ 業務効率化を更に進めるための介護ロボット導入について、補助金活用が叶わず、見守りセンサーは次年度に持ち越しとなりました。
- ⑥ 特養の看取り環境整備について、姫路市との協議を経て補助金申請を終えました。国の審査を経た次年度の支給決定を待ってからの実現が見込まれます。

6) 災害時に備えた体制の整備

- ① 災害への対応力向上のため、地域合同で避難訓練を実施し意見交換を行いました。
- ② 避難確保計画と事業継続計画（BCP）に従い、研修とシミュレーションを手段とした訓練を年2回実施。備えとして対応手順の確認や備蓄の点検、見直しを行いました。
- ③ 感染症対策の訓練では、以前の経験を振り返り、対応力向上につなげました。
- ④ 災害に備えた地域や消防機関との連携強化のため、合同避難訓練を実施しました。
- ⑤ 福祉避難所の役割や設営方法に関する外部研修に参加し対応力向上を図りました。
- ⑥ 緊急時連絡体制として LINE での情報発信や情報共有の対応力向上を図りました。

7) その他

- ① 情報の公表（介護サービス情報公表システムによる）令和8年1月
- ② 情報の公表（財務諸表等情報開示システムによる）令和7年6月
- ③ 特定建築物等防火設備定期点検実施（3年1回）令和5年10月実施

【令和5年度不具合指摘箇所改善状況】

- ・ 本館ベランダ手摺支柱部欠損・・・令和6年4月修繕完了。
- ・ 新館外壁にひび割れ・・・・・・・・・・令和6年4月修繕完了。

- ・本館居室の窓ガラス破損・・・・・・令和6年12月修繕完了。
- ・新館軒天ボード2か所破損・・・・・・令和6年9月修繕完了。
- ・屋外階段鉄部塗膜劣化・・・・・・関連部分と合わせて修繕予定。
- ・西トイレ外装塗装の劣化・・・・・・室外機の塗装への直撃風回避にて応急処置。
- ・雨水の漏水跡・・・・・・令和6年9月修繕完了。

※上記、令和6年度第3回理事会及び第2回評議員会にて経過報告済み。

- ④ 防火設備定期検査（令和7年10月15日）防火シャッター・防火扉に異常なし。
- ⑤ 消防用設備等保守点検実施（令和7年5月21日、同年10月15日）
誘導灯2ヶ所、誘導灯カバー1ヶ所交換時期にあり令和7年11月25日更新完了。
- ⑥ エレベーター定期検査（令和7年8月19日）異常なし
- ⑦ 自家用電気工作物点検（自家発電設備）
年次：令和7年11月2日 ※異常なし。
月次：令和7年5/13、7/2、9/2、11/5、令和8年1/7、3/9 ※異常なし。
- ⑧ 産業廃棄物立ち入り検査（5年1回）姫路市 令和7年度は対象外
- ⑨ 簡易専用水道定期検査（令和8年2月24日）指摘無し。総合判定「良好」。
- ⑩ 水質検査（令和7年2月24日）
採取場所・・・・・・特養一般浴槽（本館・新館・ユニット）、デイサービス一般浴槽
検査結果・・・・・・公衆浴場（浴槽水）における水質基準に適合。
- ⑪ 飲料水検査（令和7年4月17日）
受水槽清掃及び点検済・・・・・・受水槽内に錆・異物・沈殿物なし。亀裂・破損なし。
採取場所・・・・・・1階男子トイレSK
検査結果・・・・・・水質は（良）残留塩素含有量・色・濁度・臭気・味に異常なし。
- ⑫ 利用者・職員健康診断
令和7年7月29日（利用者健康診断）
令和7年7月15日（健康診断及び腰痛検査・ストレスチェック）
令和8年1月26日（夜勤者・宿直者の健康診断及び腰痛検査）
- ⑬ 姫路市 社会福祉施設（老人福祉施設）等実地指導監査受審（令和7年9月30日）
【速やかに改善を図るべき事項】
●役員報酬について
役員の退職金支給について規定が無いため、支給するのであれば規定すること。
➡令和7年度第4回理事会及び第2回評議員会での審議を経て役員等報酬規程を一部改正し、退職金の支給を規定。（令和8年1月5日 姫路市に報告済み）
- ⑭ 令和7年度介護職員の働きやすい職場環境づくり厚生労働大臣表彰奨励賞を受賞
（厚生労働省及び兵庫県のホームページにて掲載、好発事例として紹介あり）
- ⑮ 軽井沢ラジオ大学出演
（対談形式で働きやすい職場環境づくりの好発事例として紹介あり）
- ⑯ 令和7年姫路市社会福祉大会姫路市社会福祉協議会理事長共同募金感謝状を拝受

令和 7 年度

事業報告書

特別養護老人ホームしらさぎの里

年間稼働率は、98.4%で前年度と比較し 5.1%の上昇となりました。令和 7 年度は平均年齢が約 90 歳と高齢で約 3 割が 95 歳以上であり、看取りケアが 8 名、医療機関入院中に 6 名が亡くなられ計 14 名の退所がありました。入所に関しては新型コロナウイルスやインフルエンザによる感染対策に要したため、スムーズな入所が実現できず稼働率の低下を招いたと考えます。

1 根拠に基づいた介護の実践

1) 根拠に基づいた介護の実践について

主任会議やフロー会議、施設内研修会において、適正な水分摂取・歩行に対するケア・普通の食事を摂取できた場合に、身体にどのような影響を及ぼすのかを学び、部門間で連携を図りながら理論に基づいたケア・尊厳を守るケアの提供に努めました。また、適正な水分ケアを勧め、可能な限り自然な排便に繋がる様に医師との連携にも努めました。高齢者虐待、身体拘束の研修は年 2 回行っています。

特養・地域密着型特養共同の施設内研修

月	研修内容	担当職員
5 月 20 日・26 日	アセスメント・ケアプラン・モニタリング	介護職員
6 月 3 日・12 日	高齢者虐待・尊厳を守るケア	介護職員
7 月 7 日・12 日	ハラスメント	介護職員
7 月 22 日・4 日	身体拘束適正化	介護職員
6 月 18 日・20 日	職業倫理	介護職員
6 月 19 日・25 日	食中毒の基礎知識と予防（感染症）	管理栄養士
7 月 23 日・31 日	認知症ケア ICF 含む	介護職員
8 月 14 日・19 日	ターミナルケア	介護職員
8 月 24 日・26 日	接遇及び排泄介助（実践）	介護職員
10 月 8 日・13 日	接遇及び食事介助・服薬（実践）	介護職員
12 月 24 日・27 日	プライバシー保護、個人情報保護	介護職員
12 月 20 日・23 日	高齢者虐待・尊厳を守るケア	介護職員
11 月 13 日・14 日	高齢者に多い疾病（褥瘡・体位変換も含む）	介護職員
2 月 18 日・26 日	感染症予防・対策	介護職員
12 月 9 日・10 日	ICT 含めたチームケアの重要性	介護職員
1 月 22 日・23 日	身体拘束適正化	介護職員
3 月 27 日・28 日	リハビリ（集団・個別でできる体操）	機能訓練指導員
2 月 5 日・11 日	介護事故の予防・緊急時対応	介護職員
3 月 12 日・14 日	怪我・体調不良等の緊急時の対応	介護職員
2 月 6 日・13 日	高齢者施設における事故発生の原因と予防	介護職員
3 月 3 日・11 日	接遇及び入浴介助（実践）	介護職員
3 月 26 日・27 日	吸引・胃瘦介助（介護・医療職の連携、実技）	看護師
3 月 24 日・28 日	褥瘡のメカニズム	看護師
3 月 24 日・28 日	口腔ケアの重要性	看護師

実習受入について

令和 7 年度は新型コロナウイルス感染症対策を行い、令和 7 年度は龍野北高校介護実

習の受け入れを整え実習行っています。トライやるウィークの受入は中止し学校に赴き生徒に対し特養の役割の講義を行いました。

2 入居者の尊厳を守る基本的介護の実施について

1) 高齢者虐待・身体拘束の防止に向けた取り組みの実施

入居者に安心して自分らしく生活を送って頂くために、主任会議をはじめ各フロアー会議、施設内研修において、高齢者虐待と身体拘束に関する話し合いや事例検討会を行い、認知症や虐待の理解及び不適切なケアについても話し合い、職員への気づきを促し改善していけるように努めました。

3 サービスの質の向上について

- 1) 根拠に基づいた介護（水分摂取、歩行と排泄、常食化）を取り入れたアセスメントと見直しを継続して行い、一日に必要な水分摂取量を目標値に設定し対応しました。嘱託医と連携をとり心身状況の把握に努め、変化があった事に対しご家族へお伝えし、ご家族の意向の確認とケア内容の提案を行い、ご家族とも一体となった施設サービス計画書の作成に努めました。ご家族へのサービス担当者会議出席について、感染症の流行の治まりが見られてなかった為令和 7 年度はすべてお断りさせていただきました。必要時は面会後に担当者会議にご家族にも参加して頂き行っています。

サービス担当者会議開催件数（広域型）

項目 \ 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
サービス担当者会議の件数	148 件	160 件	162 件
ご家族参加の総件数	0 件	0 件	0 件

※感染症予防のため、面会制限（指定した部屋での予約制）とし、意向を伺い作成しています。

- 2) 担当介護職員より、毎月の近況報告（写真付き手紙）を ご家族宛に送付し状態の共有を図りました。また、状態変化時にはご家族へ電話連絡を随時行い、施設の体制を再度説明したうえで、対応・ケア方針の検討に努めました。（状態の変化の無い方は隔週でご家族へ電話にて近況を報告しています。）

①介護の取り組み

i 食事：

椅子やテーブルの高さ、自助具を調整し、食事を摂るための座位や姿勢を確認し、入居者ご本人に食べて頂けるよう環境整備に努めました。また、水分の種類や摂取の方法を検討し、24時間摂取できる環境を作り脱水から起こる認知レベルの低下を予防し、改善に繋がる方もありました。

ii 排泄：

入居者 一人ひとりに合わせた排泄方法を排泄委員会（尿測、排尿チャート）・フロアー会議で検討し、実施しました。

月日\種別	パット交換者	トイレ誘導者	自立
令和 7 年 4 月	11 名	31 名	6 名
令和 8 年 3 月	9 名	31 名	5 名

iii 入浴：

入居者の身体状況に応じた入浴方法を、入浴委員会・フロアー会議で検討し、各入居者に合った方法で入浴を実施しました。

月日\種別	臥床特殊浴	座位特殊浴	個浴
令和 7 年 4 月	11 名	31 名	4 名
令和 8 年 3 月	8 名	34 名	3 名

②看護室の取組み

- i 入居者の日々の健康管理に努め、発熱時には温度板を活用し、その統計と初期の体調変化を見極め 嘱託医・協力医療機関と連携し、早期対応に努めました。
医師の往診時には、入居者の状態を報告し 医師の診療補助に努めました。

嘱託医：毎週 15～20 名程度の診察（オンライン診療 21 件/年）

心療内科医師：対象者 27 名（前年度 23 名）

歯科往診：対象者 69 名（津田歯科：41 名、おかだ歯科：28 名）

嘱託医への受診件数：10 件（前年度 66 件）

嘱託医以外の協力医療機関等への受診状況		
令和 5 年度受診件数	令和 6 年度受診件数	令和 7 年度受診件数
191 件	83 件	205 件

協力医療機関等への入院状況		
令和 5 年度入院者数	令和 6 年度入院者数	令和 7 年度入院者数
35 名	30 名	24 名

- ii 入居者・職員ともに年 1 回（夜勤者は年 2 回）の健康診断を実施（介護職は腰痛検査も実施）し、嘱託医による健康相談を行いました。

- iii ターミナルケアの実施：ターミナルケア開始決定については、ご家族に医師の説明・施設での看取り介護についての説明を聴いて頂き、細かく意向を確認し、その人らしく最期の時を迎えて頂けるような支援に努めました。また、その内容の記録を作成し、職員間での情報の共有を図りました。

ターミナルケア実施者

項目 \ 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
ターミナルケア実施者数	13 名	26 名	8 名
永眠者数	7 名	18 名	6 名

入居者退所内訳

医療機関移行	医療機関死亡	看取りケア	施設で死亡	密着型移行
0 名	6 名	8 名	0 名	0 名

計 14 名

③栄養室の取組み

i 給食実施状況

・食事形態について

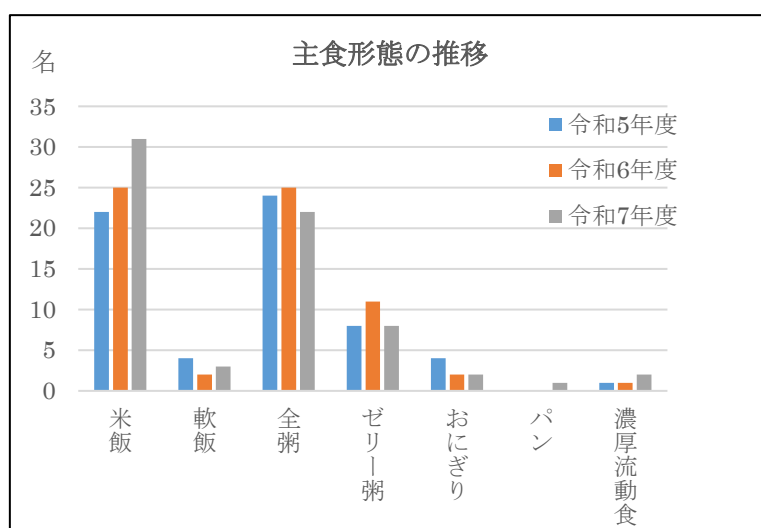
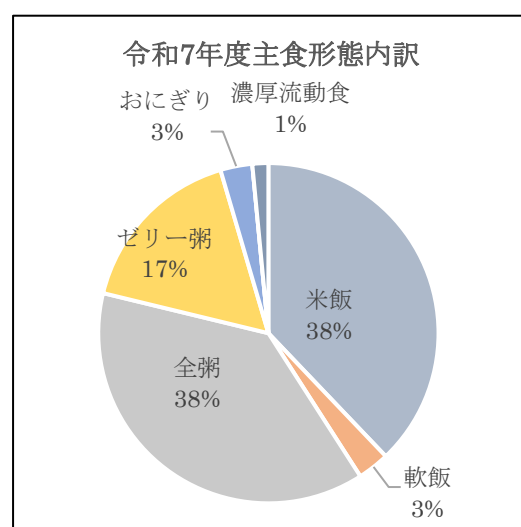
令和5年度から令和7年度までの3年間の比較をグラフにしました。

<主 食> 令和8年3月31日現在

	米飯	軟飯	全粥	ゼリー粥	おにぎり	パン	濃厚流動食
令和5年度	22	4	24	8	4	0	1
令和6年度	25	2	25	11	2	0	1
令和7年度	31	3	23	8	2	1	2

(名)

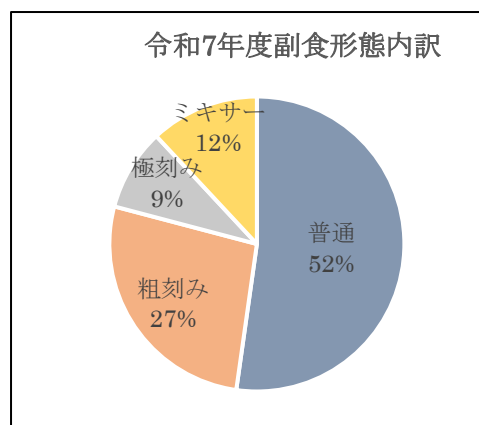
※濃厚流動食内訳：経口摂取1名、経鼻栄養1名



<副 食> 令和8年3月31日現在

	普通	粗刻み	極刻み	ミキサー
令和5年度	37	7	8	10
令和6年度	34	13	7	11
令和7年度	35	19	6	8

(名)



ii 特養の栄養摂取状況

	エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩相当量
	kcal	g	g	g	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g
施設基準量	1500	60.0	36.0	234.0	630	7.0	800	1.00	1.20	100	7.5
R 7 年度平均	1502	66.5	39.3	233.2	710	8.4	812	0.94	1.18	94	7.4
給与率	100 %	111 %	109 %	100 %	113 %	120 %	102 %	94%	98%	94%	98.7 %

iii 栄養ケア計画について

特別養護老人ホームしらさぎの里では、管理栄養士を配置し、栄養ケアマネジメント体制の強化に取り組んでいます。継続的な食事観察（ミールラウンド）の実施により、入所者一人ひとりの個性や食事に対する希望にできるだけ対応し、体重管理および疾病予防、食事療法そして生活の一部としての栄養に関するケア計画を、嘱託医を含め各部署と連携して実施しています。またサービス担当者会議に栄養士も参加し、栄養ケア計画を施設サービス計画書と連動させ、より細かなケアとサービスを提供できるよう多職種で検討しています。

iv 療養食について

特養入居者、ショートステイ利用者には様々な疾病を抱えておられる方も少なくありません。特に食事療法が重要となる病気をお持ちの方に対して嘱託医を始め看護師や介護職員と連携を取って疾病に対する療養食を提供しており、ショートステイ利用者に関しても療養食加算を算定できる体制を整えています。「生活の場であるしらさぎの里」であることから、ご本人の意思を尊重し満足度も考慮しつつ疾病に対応した療養食を提供できるよう努めています。

<令和8年3月31日現在の療養食の種類と提供人数>

	糖尿食	心臓病食	貧血食
特養	12	4	0
ショートステイ	2	3	0

(名)

特養施設行事・余暇活動実施状況

月	施設行事内容	フロア行事内容
4月	花見	・お誕生会
5月	母の日 Thanks スイーツ	・お誕生会・母の日お菓子作り
6月	父の日 お祝いにぎり寿司	・お誕生会
7月	フルーツバイキング ～カッティングフルーツ～	・お誕生会
8月	ケーキバイキング	・パフェ作り・お誕生会
9月	お彼岸 ～お米で作るおはぎ～	・お誕生会

10月	寿司バイキング	・お誕生会
11月	鍋パーティー 「寄せ鍋」	・お誕生会
12月	クリスマス スペシャルスイーツ	・お誕生会
1月	節分 恵方巻ロール	・絵馬書き・お誕生会
2月	節分・恵方巻き	・お誕生会
3月	ひな祭り ひなちらし寿司ケーキ	・お花見

5 地域との連携の強化について

施設見学については感染症対策として中止させていただき、介護技術講習会は年3回、しらさぎふれあいサロン、実施しました。

地域サポート施設として、令和7年度は11名（休止者2名）の契約者の見守り事業を行いました。感染症対策を行いながら生活援助開始させていただき、定期の安否確認及び緊急時の応対を行いました。

LSA 契約者状況

令和5年度	令和6年度	令和7年度
8名	11名	11名

6 施設運営の安定と経費の適切な管理

1) 健康サポート（状態把握・対応）について

入居者の僅かな表情や変化を捉え、嘱託医・各部署間での連携を密にとり状況に応じた対応（受診・オンライン診療・食事形態変更・観察）を行いました。入院されている方の把握を細かく行い、入院期間を把握しましたが、感染症が1年通して発生しスムーズな有効活用が行えませんでした。（空床率6.7%：82床で計算）

入居者の状態変化に応じて、介護度区分の適正な見直しと申請を行いました。

2) 経費削減について

主任会議にて光熱水費の推移を共有し、常に改善点を抽出し経費削減に努めました。

7 危機管理について

1) 介護事故及び感染症防止に関わる安全性の確立について

①主任会議において事故検討委員会を行い、各フロアー会議においては危険予測・ヒヤリハットを活用しご利用者一人一人に応じた介護ロボットの設置を行いました。小さな打撲・すり傷に至るまでの対策を検討し継続して実施しましたが、軽微な傷や皮下出血の事故が多くなりました。また、入居者自身が、皮膚を掻かれることで傷や内出血に至る事や、家族による外出・外泊をされる前・後のボディチェックを行い 身体状況を確認した結果、変化があればご家族に随時伝えました。

介護事故件数対比表

令和5年度	転倒転落 73件	創傷 26件	皮下出血 16件
令和6年度	転倒転落 60件	創傷 3件	皮下出血 3件
令和7年度	転倒転落 65件	創傷 25件	皮下出血 17件

令和5年度総件数 139件 令和6年度総件数 82件 令和7年度総件数 124件

ヒヤリハット件数対比表

令和5年度	転倒転落 209件	喉つめ 27件	トラブル 33件
令和6年度	転倒転落 119件	喉つめ 16件	紛失 11件
令和7年度	転倒転落 103件	喉つめ 36件	所在 26件

令和5年度 総件数 382件 令和6年度 総件数 231件 令和7年度総件数 440件

②新型コロナウイルス感染症及び季節性感染症について、毎月の感染症対策委員会にて感染症の動向を確認し、事前の予防・対策を図り、感染症の拡大クラスターは発生しませんでした。保健所には報告し対応の指摘はありませんでした。

年度 \ 診断名	新型コロナウイルス	インフルエンザ A 型	インフルエンザ B 型	疥癬
令和 5 年度	6 名	2 名	0 名	0 名
令和 6 年度	16 名	14 名	0 名	0 名
令和 7 年度	9 名	0 名	0 名	0 名

※一年通しての職員の新型コロナウイルス感染 14 名、インフルエンザ A 型 2 名でした。
 ※感染症対応のため、2 階での面会の中止、必要物品の適正な使用、を職員に徹底して行いました。

1) 苦情に関して

入居者・家族への細かなコミュニケーションや連絡・近況報告（写真付き手紙）を適切に行い施設での状況をお伝えし、ご家族の意向も踏まえた対応・ケアの実施に結びました。また、2 ヶ月に 1 度、苦情解決委員会を開催し、第三者苦情委員に参加頂き、地域の介護相談についても即対応しました。

苦情件数対比表

令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
0 件	0 件	1 件 ※

※ご利用者の体調不良の件で身元引受人であるご家族への報告のタイミングについて誤解がありご指摘を受けました。苦情解決委員会での助言を参考にご家族と話し合いを行い、現在はご指摘なく、利用をご継続いただいています。

2) 危機管理について

下記 日程において、消防避難訓練を実施し、非常食の食数の見直しも行い 5 日分を常備しています。

特養・地域密着型特養共同の防災避難訓練実施状況

実施日	訓練内容	対象者
令和 7 年 5 月 21 日	消火、通報および避難等を連帯して行う消防機関への通報訓練（ホットライン）ホーム内への通報連絡訓練等（夜間想定）	特養職員、地域住民
令和 7 年 10 月 15 日	消火、通報および避難等を連帯して行う消防機関への通報訓練（ホットライン）ホーム内への通報連絡訓練等（日中想定）	特養職員、地域住民

特養・地域密着型特養共同の B C P（業務継続計画）訓練計画の実施計画

災害訓練	大型地震、土砂崩れ、水害を想定した避難訓練を実施	7 月 2 日	2 月 4 日
感染対策訓練	新型コロナウイルス感染シミュレーションを行い、対策訓練を実施	6 月 12 日	1 月 9 月

令和 7 年度

事業報告書

しらさぎの里ショートステイ事業所

令和 7 年度の年間稼働率は、106.2%で前年度に比べ 0.1%増加となっています。昨年度と比べ稼働は増加となりましたが、1 年間通して発生した感染症による対応期間中の積極的な新規の受け入れを行えなかった事もあり空床利用できない期間もあり稼働率の向上に繋がらなかったと考えます。

1 ケアプランに沿ったサービス提供について

新規利用時はもとより、退院時や状態変化時にもケアマネジャーからの情報提供を元に事前訪問を実施することにより、状況に応じたケアの提供とケアプランの作成に努め、利用時毎に自宅での様子を伺い、各引継ぎ時に状態変化を職員に伝達し状態の変化に即応できるように努めました。また、“すこやかメモ”に利用中の様子を記載し、退所時にご家族にお伝えし状態の共有に努めました。

2 在宅生活継続に向けてのケアの構築

在宅生活を念頭に、移動時など自宅での生活状況と同じ内容を想定し、状況に応じて車いすと歩行器の併用を行い自宅に帰られてからの状況も踏まえ自立支援に取り組みました。また、食器洗い・洗濯物たたみ・台拭き・掃き掃除など日常的な役割を持つことによる心身機能の維持・向上と介護負担の軽減・在宅生活の継続に繋がるように努めました。

3 利用者、家族との信頼関係の確立について

- 1) サービスの利用初めや契約から時間が経過している方に関しても、ご利用に関して必要な事項があれば、再度丁寧に説明したうえで納得してご利用頂けるよう努めました。
- 2) ショートステイの入所・退所時には物品チェックを行い忘れ物が無いように努めています。(令和 7 年度は 1 件)

苦情件数対比表

令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
0 件	1 件	0 件

- 3) 利用中の細かな状態の変化であっても ご家族に連絡し意向を確認しながら対応を行いました。体調不良時には、ご家族に早目の連絡と状況の説明を行い 受診を依頼しております。

介護事故件数表 計 131 件

令和 7 年度	転倒転落 件	66	皮下出血 件	26	創傷	21 件
---------	-----------	----	-----------	----	----	------

令和 6 年度総件数 231 件

ヒヤリハット件数表 計 514 件

令和 7 年度	転倒転落	227 件	所在	41 件	喉詰め	41 件
---------	------	-------	----	------	-----	------

令和 6 年度総件数 182 件

- 4) 生きがいづくり、楽しみづくりについて（感染対策を行い実施）

- ① 個室を利用していただき、ご利用者のニーズに応じてテレビの設置等過ごしやすい環境を提供して頂けるようにしております。

② ショートステイの利用が多くなられている方や利用初めで少し不安感を持たれている方には、感染対策を行った上でのご面会やご家族からお手紙を書いていただき、不安感の軽減や関係性を保てるように支援を行いました。

③ また、施設内での生活援助、レクリエーションだけでなく「ショートステイに行って楽しかった。」と思われる様に、利用者の趣味・特技を活かし、年間行事等にご利用時に合わせて希望を伺い実施に繋げ、感染状況を鑑み対策を講じながら外出、外食も行いました。

5) 食事について

利用者個々の嗜好に基づき食事を提供し、食欲の減退に繋がらないように対応しました。また、療養食が必要な方に対し、サービス担当者会議により療養食の要否を検討し、嘱託医・各部門との連携に基づき提供を行いました。また、食事形態の変更が必要であれば利用者・ご家族の意向を確認のうえ、状態に応じた食事形態に変更を実施しました。

4 短期入所事業の安定と居宅介護支援事業所との連携強化

1) インフルエンザや新型コロナウイルス感染等により施設内での感染期間中は積極的な受け入れは実施できませんでした。その中で感染症において体調が不安定な方や医療的ニーズが増加する中、安心・納得して利用頂く為に、居宅介護支援事業所との連携を密に行い、ご家族にも感染症対策の内容を説明し、自宅での生活状況や利用前の検温に協力いただき、納得して頂きご利用に繋げました。また、ショートステイの空き状況を合わせてお知らせすることにより、ご利用に繋がっています。急なサービス利用にも対応できるように、特養入居者の入院時の空床を詳細に把握し、緊急なニーズにも可能な限り対応できるように努めました。

2) ご利用中の些細な変化であっても担当のケアマネジャーに電話にて連絡し、月に1度ご利用時の情報提供を行い綿密な連携に努め、担当ケアマネジャーとの信頼関係の構築に努めました。

令和7年度

事業報告書

地域密着型特別養護老人ホームしらさぎの里

令和7年度の年間稼働率は、93.0%と前年度に比べ0.7%の減少となりました。1年通しての感染対策と複数名の体調不良や事故による長期入院者がありました。その他は入居者個々に応じた水分ケアや健康管理を実施する事と、医療機関との連携を的確に行った事による体調の安定が図っております。

1 入居者の意思・人格の尊重とサービスの質の向上

地域密着型単体の委員会（食事・排泄・入浴）・フロアー会議・サービス担当者会議において、入居者の意思を尊重し、入居者の有する能力に応じたケアの検討と自立支援に努め、自宅で行ってきた生活の継続と役割を持った生活を送れるように努めました。

1) サービスの質の向上について

① 食事に関して

食事委員会において、入居者の時々の状態に応じた食事時の姿勢・食事形態を話し合い、咀嚼・嚥下状態及び介助を要する部分の検討を行い、普通の物を食べられる喜びを実感して頂くためにも常食化に努めました。手作りおやつをご利用者とする事で食事に楽しみを感じていただき嚥下状態の維持にも繋がりました。

② 排泄に関して

排泄委員会において入居者個々の身体状況・認知症の状況に応じた介助の方法を検討しケアの提供を行いました。

月日\種別	パット交換者	トイレ誘導者
令和7年4月	3名	7名
令和8年3月	5名	5名

③ 入浴に関して

入居者個々の希望・身体状況に応じて、入浴委員会で話し合い、入居者に合った入浴方法を検討し、入浴して頂いております。

月日\種別	個浴	リフト浴	特殊浴
令和7年4月	0名	10名	0名
令和8年3月	0名	8名	2名

④ 特養（広域）と共同し利用者及び家族の思いに添った終末期の看取り介護の実施に努めました。 令和7年度ターミルケア実施者：1名（永眠：2名）

⑤ 施設行事・フロアー行事に参加頂き、生きがい、目標作りに繋がるような支援に努めました。

フロアー行事実施記録

日 程	行事内容	日 程	行事内容
4月5日	花見	10月31日	もち吉ドライブ
5月8日	母の日ケーキ作り	11月5日	鍋パーティー
6月9日	ゆたりん足湯	11月17日	焼き芋作り
6月11日	龍野公園ドライブ	12月22日	クリスマス会
6月29日	父の日握り寿司	1月3日	初詣

7月7日	七夕フルーツパーティー	2月11日	節分パーティー
8月8日	そうめんの里外食	3月5日	ひな祭り
10月5日	敬老会	3月30日	花見

- 2) 高齢者虐待の防止の観点からフロアー会議において、高齢者虐待に関する事例検討・良い対応・不適切な対応・声掛けの方法と、入居者への日頃の認知症状への対応方法について話し合い、その中で最善のケア方法の統一を行うことにより、認知症ケアに対する理念の共有化と身体拘束・高齢者虐待に関する意識付けを行いました。
また、フロアー会議において事故検討、認知症、身体拘束、高齢者虐待に関する研修会を実施しました。
- 3) 入居者個々に合った食事提供・栄養ケアの実施
入居者個々に美味しく適切な食事提供を行うため、部門間で連携を図り、身体状況や喫食状況などを常に把握し低栄養状態の予防・改善、認知症進行の防止に努めました。
 - ① 炊飯や食事の盛り付けはユニットで行いより家庭の雰囲気作りに心掛けました。
また、入居者の食事摂取状況を把握し 個別対応の食事提供に努め、その日の状況に応じて食事形態を微調整し、安全に食事を食べて頂けるように努めました。
 - ② 低栄養や褥瘡リスクの高いまたは褥瘡が発生している入居者に対し、看護師・栄養士と連携し、速やかな栄養改善計画を立て適切な栄養管理を行いました。
 - ③ 季節の食材を取り入れた月1回の昼食お楽しみバイキング（感染対策として厨房職員が小分けにして提供）、ユニット内での入居者との家庭的で楽しみのある食事作りやおやつ作りに努めました。
- 4) 2ヶ月1回運営推進会議を行い、地域の自治会、老人会、民生委員、地域包括支援センターに出席いただき、意見を伺いより良い施設の構築に努めました。

2 ユニット型の特性を活かしたケアの構築

- 1) 入居者の要望に耳を傾け 入居者が自分らしく生活を送れ、在宅生活時から現在の状況まで把握できるように、入居者の24時間シート（アセスメント）を活用し、月1回のフロアー会議により内容の検証と共有を行いました。
また、日常的な他部門との連携をしっかりと図ることにより情報を共有し 他の専門職の意図を理解し共通理解のもと援助を行えるように努めました。

3 施設運営の安定と経費の適切な管理

- 1) 健康サポート（状態把握・対応）について
根拠に基づいた介護（水・歩行と排泄）を取り入れ入居者の小さな様子の変化を捉え、嘱託医・各部署間での連携を密にとりました。（入院件数：6件）
医療機関と連携を図り、入院されている方の常態把握を細かく行い、入院期間を把握することにより空床の有効活用に努めました。（令和7年度 受診総件数：41件 オンライン診療：6件 入院者：6名）

4 家族・地域との関係の強化について

- 1) 入居者・家族・職員が三位一体となった関係を構築し、明るく家庭的な環境をつくり、家庭との結び付きを重視した生活を提供するために、入居者の身体状況・体調変化時にはご家族への状況連絡を行い、月2回以上ご家族への近況報告を行いました。
面会については1Fでの直接面会の実施、ターミナルケアの方は感染対策を行い居室での直接面会を行いました。ご家族へのサービス担当者会議出席について、感染症の流行の治まりが見られてなかった為令和7年度はすべてお断りさせていただきました

た。必要時は面会後に担当者会議にご家族にも参加して頂く体制を整えています。

サービス担当者会議開催件数（ユニット型）

項目 \ 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
サービス担当者会議の件数	26 件	22 件
ご家族参加の総件数	0 件	0 件

※感染症対策のため、面会制限（1F 直接面会予約制）とし、意向を伺い作成しています。

2) 四季や生きがいを感じて頂くために、特養・地域密着型特養の合同施設行事にも参加していただきました。

5 危機管理について

1) 介護事故及び感染症防止に関わる安全性の確立について

①フロアー会議において、危険予測（ヒヤリハットの活用）と小さな打撲・すり傷に至るまでの対策を検討し継続して実施した結果、介護事故の減少に繋がりました。また、入居者自身が、皮膚を掻かれて傷や内出血を確認し、変化があればご家族に随時伝えました。

介護事故件数対比表

令和 5 年度	皮下出血 3 件	転落 5 件	創傷 3 件
令和 6 年度	転倒・転落 8 件	創傷 2 件	皮下出血 2 件
令和 7 年度	転倒・転落 66 件	皮下出血 26 件	創傷 21 件

令和 5 年度総件数 22 件 令和 6 年度総件数 16 件 令和 7 年度総件数 131 件

ヒヤリハット件数対比表

令和 5 年度	転倒 39 件	喉詰め 41 件	転落 31 件
令和 6 年度	転倒 35 件	転落 25 件	異食 18 件
令和 7 年度	転倒 142 件	転落 85 件	喉詰め 41 件

令和 5 年度総件数 257 件 令和 6 年度総件数 139 件 令和 7 年度総件数 227 件

②新型コロナウイルス感染症及びその他感染症について、毎月感染症対策委員会を開き時季に応じた感染症の同行を確認し、事前の予防・対策を行い結果職員含め感染者は発生していますがクラスターには至っていません。

2) 苦情に関して

入居者・家族への細かなコミュニケーションや連絡・近況報告（写真付き手紙）を適切に行い施設での状況をタイムリーにお伝えし、ご家族の意向も踏まえた対応・ケアの実施に繋げることにより、令和 6 年度の苦情は 0 件でした。

また、2 ヶ月に 1 度、苦情解決委員会を開催し、第三者苦情委員に参加頂き、地域の介護相談についても即対応しました。

苦情件数対比表

令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
0 件	0 件	0 件

3) 防災対策について

非常食の食数の見直しも行い 5 日分を常備しています。また、特養共同の防災計画に基づき、消防訓練・救急法実践訓練を実施しています。

令和7年度

事業報告書

デイサービスセンターしらさぎ

年間稼働率は、64.4%となり、前年度とほぼ変わりはありませんでした。（要支援者延・209人、要介護者延+227人）令和7年度は4月から8月にかけて新規利用者を上回る終了者数、休止者数でした。9月から11月は目標値に近づきましたが、12月より入院者、体調不良による利用休止者（入所系サービスへ移行）が増加し、稼働の向上は叶いませんでした。（令和7年度目標稼働率 67.5%）

デイサービス利用状況

月別平均利用者数（※）令和6年度

	月別平均利用者数		月別平均利用者数
4月	22.1名（23.5）	10月	23.5名（24.6）
5月	22.1名（22.5）	11月	23.2名（25.2）
6月	22.1名（22.6）	12月	21.6名（22.7）
7月	22.3名（21.6）	R8.1月	21.5名（21.8）
8月	22.3名（21.3）	2月	22.6名（19.9）
9月	24.0名（23.8）	3月	23.2名（20.8）

年平均 22.5名（22.5）

曜日別平均利用者数（※）令和6年度

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
21.3名 （22.8）	24.2名 （23.3）	23.6名 （23.1）	22.2名 （20.6）	22.6名 （23.1）	21.2名 （21.7）

介護度別平均利用者数（※）令和6年度

（総合事業）

（通所介護）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
12.8 （14.5）	12.1 （13.3）	16.4 （18.2）	10.8 （9.5）	10.2 （9.0）	1.9 （1.7）	3.8 （3.3）

平均介護度 1.60（1.50）

利用者年齢構成（※）令和6年度

	男性	女性	合計
～69歳	2（1）	0（0）	2（1）
70～74歳	2（2）	1（1）	3（3）
75～79歳	2（4）	1（2）	3（6）
80～84歳	7（5）	11（12）	18（17）
85～89歳	6（6）	18（17）	24（23）
90～94歳	6（4）	13（12）	19（16）

95～99歳	1 (0)	8 (7)	9 (7)
100歳～	0 (0)	2 (1)	2 (1)
合計	26 (22)	54 (52)	80 (74)
平均年齢	84.0歳 (84.2)	89.4歳 (88.5)	87.8歳 (87.1)
最低年齢	61歳	74歳	
最高年齢	95歳	104歳	

1.在宅生活の継続について

- ・送迎時には直接ご家族へ重要事項をつたえ、不在の場合は連絡帳の活用や電話連絡、メールなど、相談していただきやすい環境づくりに努めました。
- ・ご利用者の健康状態を都度確認し、必要に応じて助言を行うことで、安心した日常生活を送ることができるように支援しました。(早め早めの対応)
- ・機能訓練や体操、脳トレの実施後、定期的に体力測定や認知症テストにより数値化したデータを明示することで、ご利用者の励みとなるよう働きかけました。
- ・デイルーム内の畳部分を撤去し、ご利用者が動きやすく、主体的にプログラムに取り組む環境を整えました。(運動スペースの拡充)

2.サービスの質の向上

- ・多様なプログラムやクラブ活動を行い、個々の目的を重視し、生きがいと楽しみを持つことができる活動環境作りに努めました。(家庭菜園、手芸、TVゲーム、麻雀 etc)
- ・広くなった空間を活用して、運動プログラムを作成し、要支援者・要介護者共に参加ができ、運動の機会を多く作り、心と体の機能を高める取組みを行いました。
- ・エアーマッサージ器、足浴器等を導入し、血行促進を促し、血流改善・浮腫み解消・疲労回復・リラクゼーション等を目的に行いました。
- ・事故報告書やヒヤリハットを活用し、危険予知や安全意識を高め、安心してご利用していただける環境づくりに取り組みました。

事故件数対比表

令和7年度	転倒 3 件	転落 1 件	創傷 3 件
令和6年度	転倒 3 件	転落 1 件	創傷 1 件
令和5年度	転倒 3 件	転落 2 件	創傷 2 件

令和7年度総件数 8件 令和6年度総件数 6件 令和5年度総件数 9件

ヒヤリハット件数対比表

令和7年度	転倒 52 件	転落 9 件	異食 6 件
令和6年度	転倒 34 件	転落 13 件	創傷 3 件
令和5年度	転倒 48 件	転落 10 件	所在不明 8 件

令和7年度総件数 138件 令和6年度総件数 60件 令和5年度総件数 74件

- ・自宅での様子、ご利用中の様子などをご家族と共有するため、連絡帳を活用し情報交換を行いました。(介護ソフトを活用し、連絡事項・記入のミスをなくす対応を行いました。) 苦情：0件
- ・嗜好調査やご利用者・ご家族から情報を聞き取り、自宅で同様の食事形態または常食に近づけ、安全で楽しく食事をするように取組みました。また、昼食をカフェテリア方式に戻し、ご利用者が五感を使って食事を楽しむことができる環境を栄養室と協同で整えました。

(年間行事)

4月	ドライブ、花見
5月	誕生会、火災避難訓練、ドライブ、母の日スイーツ
6月	誕生会、ドライブ、そうめん流し
7月	誕生会、ドライブ、七夕喫茶、スイーツバイキング、そうめん流し
8月	誕生会、ミニ夏祭り
9月	誕生会、敬老会、スペシャルスイーツ
10月	誕生会、合同災害避難訓練、ミニ運動会
11月	誕生会、ドライブ
12月	誕生会、クリスマス会
R8. 1月	誕生会、初詣（八幡神社）、新年会
2月	誕生会、節分、ドライブ
3月	誕生会、花見、ドライブ

3.他事業所及び地域との連携

- ・ご利用者毎のサービス担当者会議に参加し、利用時の様子やご自宅での様子から必要なサービスの提案やサービス内容の変更等、ご家族・ケアマネジャー、その他の専門職と連携して在宅生活の支援に努めました。
- ・法人内事業所と協力し、地域交流講習会・介護技術講習会等を行い、地域での困りごとや情報交換を行い新規利用につなげました。
- ・他事業所へ毎月訪問し、事業所の空き状況、取り組み等の魅力発信を行いました。

※令和6年度 他事業所利用者実人数 15名

令和7年度 他事業所利用者実人数 21名

4.人材育成と資質・専門性の向上

(施設外研修)

日程	研修名
6月2日	姫路市 社会福祉法人指導監査説明会 (WEB)
6月12日	姫路市在宅医療・介護連携支援センター 認知症ケアについて
6月17日	安全運転管理者講習
7月29日	姫路市監査指導課 BCP フォローアップ研修
9月29日	県事業協会 デイ部会研修会 (WEB)
10月22日	県事業協会 認知症介護基礎研修 (WEB)
11月15日	姫路市在宅医療・介護連携支援センター 軽度認知障害を知ろう
12月23日	姫路市監査指導課 集団指導
R8年1月7日	県事業協会 高齢者虐待対応向上研修 (WEB)
1月16日	姫路市監査指導課 労務管理研修 (WEB)
2月19日	姫路市監査指導課 利用者・家族からのハラスメント研修

※外部研修はハイブリット研修となり、参加しやすい環境となりました。積極的に参加し、新たな情報や知識を収集するように取り組みました。

(施設内研修)

研修月	研修名	担当
4月	倫理法令順守について	介護主任
5月	災害対策と対応	管理者
6月前半	食中毒の予防	管理栄養士
6月後半	入浴介助の方法	介護主任
7月	高齢者虐待・身体拘束	相談員
8月	感染症	看護職
9月	ハラスメント対策	副主任
10月	緊急時対応・心肺蘇生法実習	管理職
11月	個人情報とプライバシー	介護主任
12月	高齢者虐待・身体拘束	相談員
R8. 1月	認知症ケア	介護主任
2月	要介護者等に対するこれからの介護予防の役割	副主任
3月	介護事故の防止、対応・報告	相談員

※上記以外に法人全体でのハラスメント研修、感染症や自然災害の研修、訓練（シミュレーション）により感染対策の強化、業務継続に向けた取り組みの強化など実施しています。

・義務化された高齢者虐待防止推進及び身体拘束等適正化推進のため、定期的に委員会で事例検討会を行い、周知徹底をしました。（自宅も含む）虐待：0件 身体拘束：0件

5.健康管理と感染症対策について

- ・迎え時や来所時のうがい、手洗い、手指消毒、検温確認を徹底。利用者・家族が体調不良の場合は利用を控えていただき、職員は少しでも体調に異常があれば休養を促し細菌を持ち込まないようご利用者・職員共に徹底。その結果、事業所内で感染拡大は無し。コロナ陽性：7名（内2名は同居者）インフルエンザ陽性：1名 感染性胃腸炎：0名
- ・ご利用者の病歴を都度確認し、利用中の様子に留意し、少しの変化にも気付けるように介護職と看護職が協働しました。また、早期に受診を勧めることで早期の対応が行え、入院に至らないケース、入院しても早期に退院されるケースもありました。

6.運営の安定と経費の適切な管理について

- ・重度者や認知症の方が安心してご利用いただくため、ご家族やケアマネジャー（必要に応じて医療機関）と処置や対応について情報を共有。また、ご利用者・ご家族の希望を随時確認し、利用時間・サービス内容等幅広いニーズにできる限りお応えしました。
- ・ご家族の精神的・身体的負担の軽減を図る為、送迎時や電話連絡の機会に自宅での困りごと等相談しやすい関係性を築けるよう取り組みました。また、ご家族の課題をケアマネジャーと共有し利用の追加・変更、時間延長・短縮等、できる限り対応しました。
- ・利用休止が続く方は、ご自宅へ訪問し現状を把握、利用再開の相談に対応しました。長期入院の方は様子を定期的にケアマネジャーに確認し、必要に応じて退院前カンファレンスに参加し、継続してご利用していただけるように取り組みました。
- ・デイサービスの取り組みや様子、雰囲気などをご家族に向けた新聞でお伝えしています。居宅支援事業所や地域に向けたチラシなどで、PRを行い新規利用者の獲得に努めています。併せて施設見学も実施しました。
- ・ご利用者の人数が著しく少ない日には、配置基準及びサービスの質が低下しない範囲で、職員の出勤調整を行い人件費の削減に取り組みました。
- ・消耗品については、安易に関連業者の話を鵜呑みにせず、実際に目視で確認し正否を判断しました。依頼する時も必ず見積もりをとり、整合性を確保しました。

令和 7 年度

事業報告書

居宅介護支援事業所
しらさぎ在宅介護支援センター

1 サービス計画の作成について

- 1) 新規利用者の初期対応について
訪問による事前面接を行い、身体状況や日常生活などの情報収集を行い、適切なアセスメントを実施しました。
- 2) 契約書や重要事項説明書の説明と同意について
ご利用者やご家族にわかりやすく支援内容や留意事項などを丁寧に説明しました。
- 3) サービス担当者会議の開催や居宅サービスの計画の作成について
利用者やご家族の意向と自己決定を尊重し、目標を共有するため、サービス提供事業所の役割分担やサービス内容を明確にし、自立支援や重度化予防に向けたケアマネジメントを計画、実施しました。
- 4) 公正中立なケアマネジメントについて
地域におけるサービス事業所等のサービス内容や利用料金などの情報を、パンフレットなどを活用して、ご利用者やご家族に複数の事業所を紹介しました。また、サービス選択においては、自己決定を尊重し、必要時には、インフォーマルサービスの情報もご紹介し、幅広い選択肢できるようにしました。
- 5) 苦情対応について
担当利用者やご家族、地域住民、サービス事業所等からの苦情があがれば、速やかに情報を整理し、共有、検討した上で対象者の方への対応、説明を行いました。
(令和 7 年度苦情発生件数 1 件※)
※高齢のご利用者と主介護者に費用負担の説明や助言を行いました但伝わらず、息子様から対応への苦情あり。事前に息子様や娘様にも連絡し経過の共有を図るべきだったとの結論至る。説明のうえ理解が得られたものの、担当事業所は変更。
- 6) 権利擁護業務について
 - ① 独居世帯や身寄りがいないケース、認知症が疑われる利用者に対しては、地域包括支援センターにも相談し、日常生活支援事業や成年後見制度の紹介や活用につなげました。(令和 7 年度日常生活支援事業及び成年後見制度対応件数 0 件)
 - ② 高齢者虐待の防止に努め、その対応として指針を整備し、定期的に研修及び検討委員会を開催しました。(令和 7 年度高齢者虐待対応件数 0 件)
 - ③ 身体拘束等の適正化を推進するため、指針を整備し、定期的に研修及び委員会を開催しました。また、利用者の生命や身体保護のため緊急をやむを得ない場合があれば、サービス担当者会議を開催し、利用者の心身の状況や緊急をやむを得ない理由を記録、事業所内で共有することとしました。(令和 7 年度該当件数 0 件)
- 7) 感染症対策や災害対策について事
 - ① 業継続計画（BCP）に基づき、日頃から、災害や感染拡大への対応力強化に努めました。また、訪問時には、災害有事の際に自宅での生活が継続可能かについて確認や相談を行いました。
 - ② 研修や訓練（シミュレーション）を年 2 回行い、法人内の避難訓練等にも参加し、連携を築きました。

2 経営基盤充実のための取り組みについて

- 1) 事業収益の向上について
新規介護給付 42 件

新規予防給付 26 件（内訳：介護予防マネジメント 14 件、介護予防支援 12 件）
利用終了 34 件（令和 6 年度 44 件）。

※内訳（ ）内は令和 6 年度実績

法人の特養入所 9 件（16 件）、死亡終了 12 件、休止 4 件、他施設入所 9 件
介護給付から予防給付への移行が 2 件。
予防給付から介護給付への移行が 19 件。
予防年間件数 827 件（897 件）

毎年、11 月以降、終了や中止ケースは少なかったものの、寒暖の差が激しい影響などもあり、R7.11 月～R8. 3 月までで、体調不良者やお亡くなりになられた方、施設入所された方が多く、介護給付が 23 件、予防給付が 7 件減少。その影響もあり稼働が上がらず。

また、認知症の進行や体調悪化により、自宅での生活が困難になるケースも増えました。その際は、ご利用者やご家族の希望を伺い、受入れ可能な施設等を探してご紹介し、ご本人やご家族が安心して日常生活を送ることができるようにご支援、引継ぎを行いました。その他入院時加算、退院退所加算、ターミナル加算、初回加算を算定しています。

体制としては、令和 6 年 12 月に 1 名が退職し、令和 7 年度は 4 人体制になりました。
年間稼働率（目標）80% ➡ （実績）81.7%
月あたりの介護保険事業収入（目標）250 万円 ➡ （実績）238 万円

稼働率は上がっていますが、終了ケースが多く、また前年よりも新規の依頼が少なかったこともあり、介護保険事業収入では目標を達成できませんでした。

対策として、新規利用者確保のため、地域包括支援センターや他事業所などに、空き情報を定期的に伝えるなど、啓発を行いました。新規の依頼を増やすことができませんでした。令和 8 年度においては、事業所のチラシや啓発用ティッシュをポスティングなどしてニーズを拾い、新規獲得を目指します。

新規利用者 受け付け（件）

申込先	令和 6 年度	令和 7 年度
ご家族、本人	41	37
地域包括支援センター	27	23
病院	2	3
事業所	29	3
合計	93	66

ケアプラン作成件数 予防給付

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
マネジメント（委託）	30	29	29	31	29	28	30	32	30	28	29	31	356
介護予防支援（指定）	38	37	37	41	43	40	40	39	39	38	38	41	471
委託と指定の合計													827

3 連携の強化について

1) 入退院時の対応について

- 入院時には、入院日、1 日目と 2 日目のみが算定可能な加算算定を目指し、的確

に病院への入院情報提供書等を送付、入院時連携を行いました。

- ・ 退院時には退院前カンファレンスに積極的に参加、介護保険サービスや生活環境を整え、円滑に在宅復帰を支援しました。
- 2) 地域課題への対応と社会資源の開発について
- ・ 地域包括支援センター等が開催する研修に参加し、必要な制度等に関する情報を取得し、対応力向上に努めました。
 - ・ 地域課題への対応や社会資源の開発について、ブロック研修に参加し、他法人の介護支援専門員とグループワーク等を通し情報を共有し、行政に要望を挙げました。
 - ・ 介護支援専門員の人材不足に対し、介護支援専門員の実習研修を受け入れ、人材育成に取り組みました。また、指導を通じて居宅介護支援事業所の魅力を発信しました。
- 3) 困難ケース等への対応について
- ・ 対応困難なケースは、地域包括支援センターなどの関係機関に相談し連携しました。また、併設の特別養護老人ホームやデイサービスセンター、地域あんしん見守り支援サービスとも連携しニーズに対応しました。
 - ・ 独居の方や認知症の方には、法人内の事業所とも協力し、多様なニーズに対応しました。
 - ・ 訪問看護や訪問看護など他のサービス事業所や民生委員など、多職種と連携・協働し、医療と介護の複合的ニーズなど幅広く早期問題解決の手段を見出しました。

4 介護支援専門員としての資質向上とメンタルケアについて

- 1) 特定事業所加算Ⅱ算定の実現とそれに伴うサービスの質向上について
- ・ 特定事業所加算Ⅱの算定要件を維持するため、サービス提供上の留意事項などの伝達、共有を目的とした、ケース検討会議を週1回、開催しました。
 - ・ 24時間連絡体制を確保して、必要時に、利用者等の相談などに対応しました。
 - ・ 算定維持に必要な研修も含め、研修計画に従って月1回の事業所内勉強会を実施しました。(※事業所内研修を参照)
 - ・ 介護支援専門員の資質向上のため、年間の個人目標と研修計画を設定し、目標に応じた研修への参加機会を確保しました。また、それぞれが得た知識や情報、技術を共有して、事業所としての対応力向上にもつなげました。(※外部研修を参照)
 - ・ 他法人の居宅介護支援事業所と共同で事例検討会を開催しました。困難ケースについて、対応方法に関する助言などの意見交換を行い、支援方法などを振り返り、ご利用者の在宅生活支援における対抗力向上を図りました。
- 2) 生産性向上に向けた取組について
- ・ ケアプランデータ連携システムの活用を目指し、情報収集と調整作業を進め、令和8年度早々の導入計画を明確にしました。
 - ・ 介護支援ソフトやタブレット、ポケットWi-Fiの活用により業務効率化につなげました。
 - ・ 生産性向上に向けた検討を目的とした委員会を定期的に開催しました。
- 3) メンタルケアについて
- ・ 年1回の健康診断とストレスチェックを実施しました。
 - ・ 産業医による相談日を設け、相談をしやすい環境をつくりました。
 - ・ 相談業務によるストレスがかかりやすいため、担当ケースについて、一人で悩み抱えることがないように、毎日のミーティング等を利用して介護支援専門員がお互いに相談し、支え合う体制をつくりました。担当者が抱えるケースの課題は、事業者内全体で共有、把握、検討し、問題解決ができるようにしました。

令和7年度 外部研修

開催日	研修名称等	開催場所
5月20日	看取りのシミュレーション	姫路メディカルシミュレーションセンターひめマリア
7月17日	ケアマネジメント力向上会議	姫路市総合福祉会館
7月23日	西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント会議	ウエルカムハウスワン
9月11日	西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント会議	ウエルカムハウスワン
12月16日	高齢者虐待への対応	WEB研修
12月23日	令和7年度介護保険サービス事業所に対する集団指導	姫路市市民会館
R8年1月15日	ケアマネジメント力向上会議	姫路市総合福祉会館
2月19日	姫路市監査指導課 ハラスメント研修	WEB研修
2月25日	難病患者が安心して療養生活を送るために	南保健センター
2月26日	西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント会議	ウエルカムハウスワン
3月18日	令和7年度介護保険サービス事業所集団指導	WEB研修

令和7年度 事業所内研修

開催日	研修名称等
R7年4月1日	法令順守について
5月8日	生産性向上について
6月9日	権利擁護について
7月7日	主治医との連携と身体拘束防止について
8月12日	高齢者虐待と身体拘束予防について
9月4日	ハラスメントとメンタルヘルスについて
10月20日	事業継続計画（BCP）について
11月7日	感染症予防について
12月1日	多職種連携について
R8年1月7日	人生会議（ACP）について
2月3日	認知症及び認知症ケアについて
3月4日	高齢者の薬について

5 地域との交流と連携について

1) 感染症対策を行いながら、しらすぎ地域交流講習会を年3回開催しました。

開催日	テーマ	講師	参加数
5月15日	「体を動かして健康寿命を目指しましょう」（日常生活活動体操）	デイサービスセンターしらすぎ 機能訓練指導員 則岡一雅氏	25名
11月18日	「知っておきたい感染症の話」	姫路市保健所予防課 織田真人氏	20名
R8年2月13日	「終活について考えてみよう」	姫路市市役所 高齢者支援課 妻鹿綾音氏・高見明典氏	27名

2) 講習会の開催に合わせて介護相談窓口を開き、相談対応を行いました。

3) 地域福祉向上のため、林田校区で唯一の居宅介護支援事業所として地域包括支援センター等の関係機関と連携し、「地域に根差した総合福祉相談」を実施しました。

令和 7 年度 施設外研修参加一覧			
日程	研修内容	参加者	会場
4/10	姫路市老施連 第 1 回役員会	施設長	ホテルモントレ
4/15	姫路市監査指導課 R7 年度社会福祉法人指導監査説明会	施設長他	WEB
4/23	姫路市在宅医療介護連携支援センター 0 から始めるやさしい疾患勉強会	山田	WEB
5/13	姫路公共職業安定所 新規学卒者求人取扱説明会	施設長	相生商工会議所
5/13	県経営協 第 45 回総会・記念講演会	理事長	ザ・マークスクエア神戸
5/15	姫路市老施連 R7 年度第 1 回総会・施設長職員研修会	施設長・渡部・井貫	ホテルモントレ
5/21	姫路市在宅医療介護連携支援センター 看取りのシミュレーション	松下・中林	ひめマリア
5/23	姫路市在宅医療介護連携支援センター 研修検討委員会	施設長	WEB
5/27	姫路市監査指導課 食中毒研修会	佐藤・吉本	WEB
～ 5/30 配信	全国老施協 R6 年度介護施設における法律実務研修	渡部	WEB
6/19	西播磨総合リハビリテーションセンター 身体介護テーマ別研修 移乗編	居垣・田行	西播磨総合リハビリテーションセンター
5/31	姫路市社協林田支部総会	施設長	ゆたりん
6/2	姫路市監査指導課 指導監査説明会	施設長・春本・渡部	WEB
6/9	第 3 回姫路市老人福祉施設連盟役員会	施設長	ホテルモントレ
6/12	姫路市在宅医療・介護連携支援センター 認知症ケアについて	中林	姫路市医師会館
6/16	姫路年金事務所 R7 年度社会保険制度説明会	村田	アクリエひめじ
6/13	県事業協会 第 1 回研修委員会	施設長	WEB
6/18	姫路市保健所 姫路市栄養管理研修会	福岡友	総合福祉会館
6/17	県公安委員会 安全運転管理者講習	春本	アクアホール
6/27	県事業協会第 47 回定時総会	施設長	神戸ポートピアホテル
7/3	姫路市社協 R7 年度姫路市社協総会	施設長	総合福祉会館
6/27	参議院選挙不在者投票事務説明会	村田	姫路市役所
7/17	R7 年度第 2 回ケアマネジメント力向上会議	富永・山田	総合福祉会館
7/23	R7 年度第 1 回西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント研修	福岡・松下	ウエルカムハウススワン
7/22	R7 年度姫路市老人福祉施設連盟ケアプラン研修会	施設長・井貫・高濱	ホテルモントレ
7/29	姫路市 R8 年度特養等事業所の整備等に関する説明会	施設長	WEB
7/29	姫路市監査指導課 BCP フォローアップ研修	施設長・春本・渡部	WEB
8/2	姫路市介護保険課 R7 年度兵庫県認定調査員研修	井貫朝	WEB
8/19	姫路市監査指導課 虐待防止研修	井貫・澤江・高濱・加納・満田	WEB
8/22	姫路市監査指導課 感染症対策研修	施設長・渡部	WEB
8/25	姫路市老人福祉施設連盟役員会	施設長	紅鶴

8/26	認知症ケアにおけるリフレーミング研修 BPSD 編	長谷川・井原・黒木	西播磨総合リハビリテーションセンター
7/24	兵庫県経営協 7 月例会	理事長	WEB
9/8	R 7 年国勢調査員事務説明会	施設長	姫路市役所
9/11	R 7 年度第 2 回西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント研修	福岡・山田	ウエルカムハウススワン
9/22	R 7 年度姫路市老施連 生活相談員研修	施設長・渡部	ホテルモントレ
9/26	県社協 10 月例会/都道府県セミナー	理事長	WEB
9/29	県事業協会 デイ部会研修会	春本	WEB
10/6	姫路市監査指導課 社会福祉施設等中堅職員研修	石井・黒木	姫路市役所
10/6	姫路市社協 DWAT 登録に係る説明会	施設長・渡部	WEB
10/16	県事業協会 法定研修（法令遵守・プライバシー保護）	施設長・澤江・高濱・満田・井貫・加納	WEB
10/22	県事業協会 認知症介護基礎研修	木村	WEB
10/23	県事業協会 第 2 回研修委員会	施設長	県福祉センター
10/27	姫路市老人福祉施設連盟役員会	施設長	姫路商工会議所
10/28	姫路職安 西はりま新規高卒者就職フェア	渡部・田行	ホテルモントレ
10/29	姫路市社会福祉大会	施設長・渡部	姫路市民会館
10/30	県事業協会 生産性の向上セミナー	施設長・澤江・高濱・満田・井貫・加納	WEB
10/30 他 3 日	県介護福祉士会 介護福祉士実習指導者講習会	石井	県福祉センター
11/5	県高齢政策課 介護職員の働きやすい職場環境づくり表彰	理事長・施設長	兵庫県庁
11/4	姫路市介護職員交流促進事業 初任者職員集合研修	清水	総合福祉会館
11/5	姫路市監査指導課 R 7 年度事故防止研修	澤江・満田・加納	WEB
11/11	県事業協会 人生の最終段階へ向けての県民フォーラム	施設長	県私学会館
11/12	第 3 回西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント研修	福岡・富永	ウエルカムハウススワン
11/14	姫路市老人福祉施設連盟 人材育成・定着研修会	施設長・荒内・加納	ホテルモントレ
11/15	姫路市在宅医療介護連携支援センター 軽度認知障害を知ろう	中林	WEB
11/16	姫路市歯科医師会 高齢者・要介護者の口腔ケア研修会	井原・黒木・居垣	姫路市歯科医師会
11/29	姫路市西播介護サービス事業者連絡協議会研修会	施設長	姫路市医師会
12/5	県事業協会 介護職員等の人生の最終段階における対応向上研修	施設長	WEB
11/26	姫路高齢者支援課 在宅医療介護連携に関する相談対応研修委員会	施設長	WEB
12/8	姫路市社協中央西エリア交流会	施設長・渡部	クローバーこども園
12/16	ケアマネジャー向け研修（虐待防止）	山田	WEB
12/17	県事業協会 地域サポート推進事業 説明会	高濱	WEB
12/18	姫路市医師会 医療措置協定に基づく研修会	施設長・渡部・山下・井貫・澤江・加納・満田	WEB
12/19	姫路市監査指導課 社会福祉法人運営研修	理事長	WEB

12/23	姫路市監査指導課 集団指導	春本・福岡恵	姫路市民会館
12/24	第9回姫路市老施連役員会	施設長	ホテルモントレ
1/21	県事業協会 外国人介護人材に関する研修	施設長	県福祉センター
2/5	県事業協会 施設長研修会	施設長	神戸オリエンタルホテル
11/26	県高齢者支援課 相談対応検証委員会	施設長	WEB
12/5	県事業協会 人生の最終段階における対応向上研修	施設長	WEB
9/25・ 12/10	県労協 人材の確保と定着率の向上及び人材育成制度導入改善セミナー	施設長	WEB
1/10	県社協 新年福祉のつどい	理事長	神戸ポートピアホテル
1/14	県事業協会 第3回研修委員会	施設長	県福祉センター
1/15	姫路市 ケアマネジメント力向上委員会	福岡恵・松下	総合福祉会館
1/16	姫路市監査指導課 労務管理研修	施設長・春本・渡部	WEB
1/21	県事業協会 外国人人材確保・定着研修	施設長	県福祉センター
1/22	経営開発センター 考課者・フィードバック研修	渡部・井貫	姫路大同生命ビル
1/22	不在者投票事務説明会	村田	総合福祉会館
1/23	市老人福祉施設連盟 医療関係研修会	施設長・渡部・居垣・田行	ホテルモントレ
1/23	県経営協 都道府県セミナー	理事長	WEB
10/15 他	R7 年度介護支援専門員更新研修 A（後期）	佐野篤	WEB
2/5・6	県事業協会 R7 年度施設長研修会	施設長	神戸オリエンタルホテル
2/9	姫路市監査指導課 社会福祉法人会計研修	施設長・渡部・村田	WEB
2/17	姫路市社協 兵庫DWA T養成基礎研修	施設長・渡部	総合福祉会館
2/18	ひょうご生産性向上推進オンラインセミナー	渡部	WEB
2/19	姫路市監査指導課 利用者・家族からのハラスメント研修	施設長・春本・渡部・福岡え	WEB
2/5	長寿社会開発センター研究セミナー「難病ケアマネジメント」	松下	WEB
2/25	姫路市保健所 難病ネットワークセミナー	松下	南保健センター
2/26	R7 年度第4回西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント研修	福岡恵・山田	ウエルカムハウススワン
3/2	県高齢政策課 生産性向上推進フォーラム	渡部	WEB
1/7～3/11 配信	県社会福祉士会 高齢者虐待対応力向上研修	三木	WEB
配信	全国老施協 デイサービスの経営改善に向けた情報提供	春本	配信
3/4	姫路市監査指導課 介護保険サービス事業所集団指導	施設長・春本・渡部・福岡え	WEB
3/19	姫路市老人福祉施設連盟第2回総会・研修会	施設長・福岡友	ホテルモントレ
3/27	県事業協会 第48回総会	施設長	兵庫県福祉センター

令和7年度ボランティア活動実績				
	活動日時	活動内容	部署	活動人数
令和7年	6月11日	三味線・歌演奏	デイ	2名
	7月2日	兵庫県立大学学生 レクリエーション	デイ	4名
	9月23日・24日	手品披露	デイ	4名
	11月29日	クリスマスツリー飾りつけ	特養	3名
	12月12日	ウクレレ演奏披露	デイ	1名
令和8年	1月6日・7日	手品披露	デイ	4名
	2月22日	ひな人形飾りつけ	特養	5名
	参加ボランティア：団体（ 5団体）			
	延 活動回数：	7 回		
	延 活動人数：	23 名		